

令和6年度 諏訪小の教育

教育目標 やさしく かしこく たくましく

上越市学校教育目標

ふるさとを愛し、自立と共生ができる子どもを育てる。

- 子どもが主体的に学ぶ授業づくり
- 豊かなこころと体づくり
- 全ての子どもの学びを保障する教育環境づくり
- 地域とともにある特色ある学校づくり

重点目標 共に創り出す子（力）

<目指す姿>

- 基礎的な知識・技能を身に付ける子 【知識及び技能】
- 身に付けたことを活かして深く学び、自分の考えや意見をもつ子 【読解力、思考力、判断力、表現力】
- 仲間と協力して学びながら、一步上の自分（たち）を創り続ける子 【学びに向かう力、人間性】

雄志中学校区

小中一貫教育で目指す姿

郷土への愛着と郷土に生きる誇りを持ち、大きな「大志」を抱いて、未来を切り拓く子ども

- 郷土愛
- みつめる力
- 夢おこす力
- かかわる力
- やり抜く力

(深める、まとめる、つなぐ)
6年生を送る会・卒業式

学びを創る（学習指導）

対話を通して主体的・対話的に学び、進んで課題を追究しながら学びを創り出す子（地域素材とICTの活用）

教科学習

・知識や技能を確実に習得し、対話する場面を設定し、それらを活用して主体的に問題を解決する力を育てる。

ゆめ学習

・地域の自然や人、ものや事とのかかわりを通して課題を見つけ、進んで追究し、自分の在り方や生き方を考える力を育てる。

(伝える、深める)
宿泊体験、感謝の取組

保護者・家庭との行動連携

学校・地域への愛着

(思い出を創る、振り返る、つながる) 閉校記念事業、戸野目小との交流学习など

諏訪小の教育の創造

教科学習、ゆめ学習、行事（特別活動）を関連づけ、複式学級の強みや地域資源を生かし、諏訪の地でこそ行える学習指導を展開し、ねらいを達成する。

- 主体的な学びを促す授業づくり
- 人権意識の向上
- 安心して学べる居場所づくり
- 地域資源を活かした本物教育「人、もの、こと」とつながる工夫
- ・米作り、二貫寺の森、地域のお宝、～を学ぶ・～に学ぶ

(知る、創る、挑戦する)
運動会・縦割り班

人間関係を創る（生活指導）

豊かな人権感覚を持ち、温かい人間関係を創り出す子（相手意識と規範の尊重）

人権教育、同和教育

・差別や偏見を自分事としてとらえ、自他の人権を守るため、自ら考え、行動できる力を育てる。

社会性

・子どもたち自身の力で自分たちの生活を工夫改善していく力を育てる。

健康を創る

自分の健康課題を知り、健康的な生活を創り出す子（生活習慣の向上、メディアとの適切な関わり）

体力づくり

・めあてをもって運動する中で、体を動かす楽しさや喜びを感じ、進んで運動する力を育てる。

健康教育

・自分の生活を振り返り、めあてをもって健康的な生活行動を実践する力を育てる。

(かかわる、広げる)
わくわく体験

地域や関係団体との連携

学校運営協議会・後援会・同窓会・公民館・保育園・青少年育成会議・防災士会・諏訪の里づくり協議会・芳澤謙吉翁顕彰会 等

(広げる、挑戦する、伝える) 文化祭、マラソン大会